

こっこめ通信 04 2015

ハ丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「飛んでくる？泳いでくる？それとも…」号

第49回フリージアまつりが3月21日より4月5日まで開催され、4日と5日にはフリージアの花を使ってインフィオラータも制作されます。開催終了後もフリージアの花の観賞はできますのでぜひお越しください。

さて、今回は「講演会『外来種と生物多様性』」「アオサギの大群がやって来た！」「ザトウクジラの親子も通過！」についてのお話です。

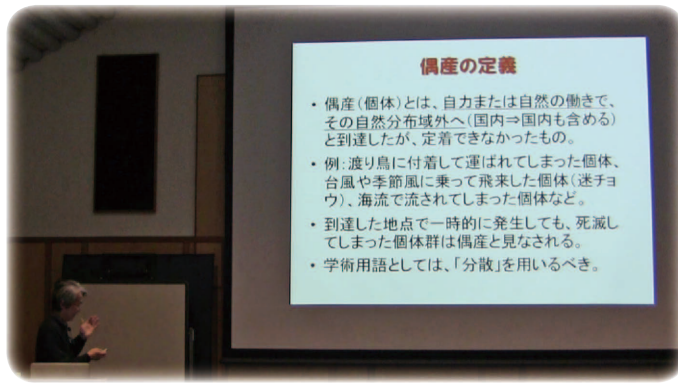
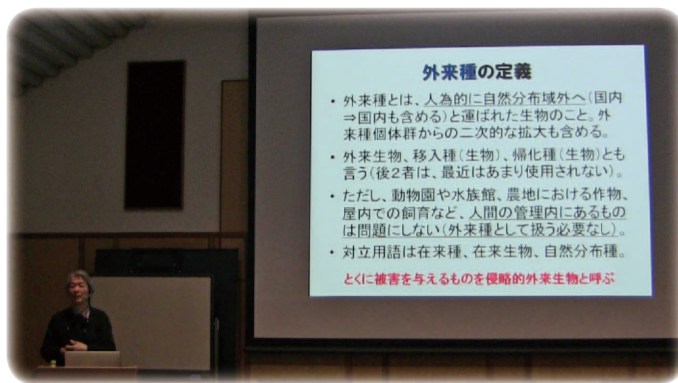
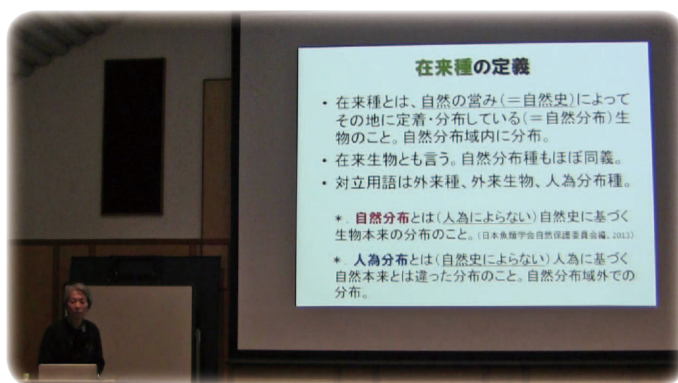
講演会「外来種と生物多様性」

2月28日の19時30分から21時まで、元神奈川県立生命の星地球博物館学芸部長の高桑正敏博士を講師にお招きし、講演会「外来種と生物多様性～ハ丈島の昆虫を中心に考える～」を開催しました。

講演は、何度も訪れている「ハ丈島の思い出」や「ハ丈島の地理的位置と生物について」の話から始まり、「在来種と外来種、偶産の定義」を詳しく教えていただきました（右写真）。そして、「ハ丈島の代表的な外来種」のニホンイタチとリュウキュウツヤハナムグリについての話がありました。イタチに関しては、1961・62年にネズミ類の駆除目的で導入されたが、結果、オカダトカゲやハチジョウノコギリクワガタなどの地表性甲虫、アカコッコなどが標的になり、それらの数が減ってしまったこと。また、ハナムグリに関しては、東京港野鳥公園で発生した個体群はハ丈島に航行している定期船による二次的な影響で拡散されたのではないかと考えられているということです。

最後に「外来種は何が問題なのか？」という話では、生物多様性（＝自然史）を損なう、つまり、在来生態系を多少なりとも攪乱してしまう。それは、食・被食によって在来種に影響を与える、交雑によって遺伝子浸透・汚染を生ずる、在来種との種間競争により衰亡させるということ。また、人の健康に害をもたらすことや農林水産業に被害を与えることも考えられます。そして、自然史研究に混乱を招く事があり、地域の目録作成時には在来・偶産・外来などを分けて考えるべきである。しかし、区別が難しい現状もあるとのこと。

外来種対策は、ガイドラインを作りそれらを守ることとかなり防ぐことが可能であるということでした。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。ハ丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

アオサギの大群がやって来た！

3月11日、八丈島ではとても珍しくたくさんのアオサギが見られました。しっかりと目視で確認できただけでも、八重根前崎浜で29羽、鴨川沿いで9羽、鴨川河口で10羽、神湊(底土)港で3羽、上空で15羽、ホテル跡地で25羽、神湊漁港で29羽の計120羽。これ以外にもいると思われるので、相当な数になります。八丈島では3月から5月、9月から11月と渡りの途中に立ち寄り、春には若い個体も見られます。しかし、数は数羽と多くなく、今回のように一度にこれだけ見られることはありませんでした。しかも、島に立ち寄る個体はくちばしの黄色い繁殖羽になっていないものが多いのですが、今回はくちばしの基部が赤みがかかった婚姻色になっていました。

アオサギが渡って来た10～11日は、低気圧が発達しながら北上し、北海道でさらに発達していました。冬型の気圧配置になり、八丈島でも風速10m/sの西風が吹き続けていました。渡ってきたというよりも、この風で飛ばされてきてしまったのでしょうか？

数日後、アオサギの姿はほとんど見られなくなりました。その後は、三宅島で多くの目撃情報があったようなので、無事に北へ旅立っていったようです



八重根漁港防波堤



神湊漁港



ホテル跡地上空

ザトウクジラの親子も通過！

3月18日、島の西側沿岸で、親子と思われるザトウクジラを確認しました。初めは水面をヒレで叩く姿を確認しました。その後、双眼鏡で探すと泳いで北上していたため、ダイビングポイントのナズマド沖を通ると予測して先回りして待っていると、思っていたよりも岸側を通過(右中)してビックリ！。右上は親子の大きさを比較するため画像を合成してみました。さらに北上した後、親が尾びれを見せて潜水し、その後は姿を見失ってしまいました。こっこめ通信2010年6月号でも親子のクジラを紹介しましたが、今回の子供はそれよりも小さいように感じました。親子で北上する時期には少し早いような気がします。沖縄や

小笠原よりも高緯度で出産したのでしょうか？

島の周りではこれから、クジラやイルカを目撃情報が多くなってくる時期になります。



Google earth



大きさ比較のため
画像合成しています



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は3月8日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成27年第3回） 参加者：黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオノクマタケラン	昨年の実	30	ハナイバナ	花	1	イシカグマ	
2	アツバスマレ	花	31	ハハコグサ	花	2	ウチワゴケ	
3	イワニガナ	花	32	ヒナギキョウ	花	3	オオイタチシダ	
4	ウスベニニガナ	花	33	ベニバナボロギク	花	4	オオタニワタリ	
5	ウラシマソウ	花	34	ヘビイチゴ	花と実	5	オニヤブソテツ	
6	ウラジロチチコグサ	花	35	マメカミツレ	花と実	6	タチクラマゴケ	紅葉と新芽
7	オオアレチノギク	花	36	ムニンキケマン	花と実	7	タチシノブ	
8	オオイヌノフグリ	花	37	ムラサキカタバミ	花	8	タマシダ	
9	オオシマカンスゲ	実				9	トラノオシダ	
10	オニタビラコ	花	木本			10	ナチシケシダ	
11	オランダミミナグサ	花	1	アオキ	熟した実と蕾	11	ナチシダ	
12	カタバミ	花と実	2	アカメガシワ	新芽	12	ノキシノブ	
13	キュウリグサ	花	3	オオバヤシャブシ	花	13	ハチジョウカナワラビ	
14	キランソウ	花	4	オオムラサキシキブ	新芽	14	ハチジョウシダ	
15	コケリンドウ	咲き始め	5	カジイチゴ	花	15	ハチジョウベニシダ	
16	コシロノセンダングサ	花と実	6	サカキカズラ	実が割れる	16	ヒトツバ	新芽が目立つ
17	コナスビ	花	7	シマモクセイ	実	17	ホシダ	
18	コハコベ	花	8	タイミンタチバナ	花と新芽	18	ホラシノブ	
19	シチトウスミレ	花	9	テイカカズラ	実が割れる	19	マツバラソ	
20	シマテンナンショウ	咲き終わり	10	ハチジョウイチゴ	花	20	マメツタ	
21	スズメノカタビラ	花	11	ハチジョウキブシ	花	21	ミゾシダ	
22	スズメノヤリ	花	12	ハチジョウクサイチゴ	花	22	ヤマイトチシダ	
23	セイヨウタンポポ	花	13	ヒサカキ	花	今回は、シダ植物 22 種を含む 78 種の植物を観察しました。 野鳥のさえずりはあまり聞かれませんが、蘚類の新芽が美しく、クワゴマダラヒトリの幼虫も目立ち始めて、いよいよ春がやってきた感があります。		
24	タケダグサ	花	14	ホウライカズラ	実の虫コブ			
25	タネツケバナ	花と実	15	マサキ	熟した実			
26	ツメクサ	花	16	モチノキ	花			
27	ツルソバ	花と実	17	ヤツデ	実			
28	ノジスミレ sp.	花	18	ヤブツバキ	花			
29	ハキダメギク	花	19	ヤマモモ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内でも見られる「セイヨウタンポポ」にスポットを当ててみたいと思います。



セイヨウタンポポ *Taraxacum officinale*

キク科の多年草。ヨーロッパ原産の帰化植物で、環境省指定要注意外来生物に指定されています。

八丈島には人の手によって植えられたものが広がり、現在は島内全域で確認されています。また数年前より、セイヨウタンポポではない、総苞外片が反り返らないタンポポも確認されています（種不明）。

2015 八丈ビジターセンター 4 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 04 : 34 10 : 33 16 : 20 22 : 35	2 04 : 59 11 : 01 16 : 59 23 : 08	3 05 : 23 11 : 29 17 : 35 23 : 38	4  ガイドウォーク 05 : 47 11 : 56 18 : 09
清明 5 ガイドウォーク 06 : 10 00 : 07 18 : 43 12 : 24	6 06 : 34 00 : 36 19 : 17 12 : 54	7 06 : 58 01 : 04 19 : 54 13 : 25	8 07 : 23 01 : 34 20 : 33 13 : 59	9 07 : 51 02 : 06 21 : 19 14 : 37	10 08 : 23 02 : 43 22 : 18 15 : 23	11 ガイドウォーク 09 : 03 03 : 31 23 : 39 16 : 22
 12 ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」 04 : 48 10 : 06 17 : 41	13 01 : 15 06 : 50 11 : 54 19 : 11	14 02 : 30 08 : 25 13 : 46 20 : 29	15 03 : 21 09 : 23 15 : 07 21 : 31	16 04 : 02 10 : 09 16 : 10 22 : 22	17 04 : 39 10 : 51 17 : 04 23 : 08	18 ガイドウォーク 05 : 14 11 : 31 17 : 53 23 : 50
 19 ガイドウォーク 05 : 48 12 : 11 18 : 41	東段雨 20 06 : 20 00 : 30 19 : 27 12 : 51	21 06 : 52 01 : 08 20 : 12 13 : 31	22 07 : 24 01 : 44 20 : 57 14 : 11	23 07 : 55 02 : 21 21 : 46 14 : 52	24 08 : 29 03 : 00 22 : 43 15 : 37	25 ガイドウォーク 八文学講座 「さえずりを聞き分けよう」 09 : 09 03 : 53 23 : 55 16 : 30
 26 ガイドウォーク 05 : 25 10 : 14 17 : 38	27 01 : 16 07 : 32 12 : 10 18 : 59	28 02 : 20 08 : 45 13 : 58 20 : 13	29 「八丈富士ハイキング」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 03 : 04 09 : 28 15 : 10 21 : 10	30 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 03 : 39 10 : 02 16 : 02 21 : 55		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

4 / 12 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座

「さえずりを聞き分けよう」

毎月行っている八文学講座。島ならではのいろいろな鳥のさえずりを聞き分けましょう！

4 / 25 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名

GW特別行事

「八丈富士ハイキング」

みどりの日恒例の八丈富士ハイキング！1280段の階段を登り終えた後に見えるのは…

4 / 29 (9 : 30 ~ 約6時間) 八丈富士鉢巻き道路登山口集合・解散 小雨決行

小学生以上 (低学年は保護者同伴) 参加費：50円 定員：20名

GW特別行事

「バードウォッチング入門」

公園内で開催するバードウォッチング入門編。双眼鏡の使い方から始め、アカコッコを探します

4 / 29、4 / 30 (10 : 00 ~ 約1時間半) ビジターセンター集合・解散 雨天中止

小学生以上 (低学年は保護者同伴) 参加費：無料 定員：10名

GW特別行事

「体験八丈太鼓」

両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散できますよ！

4 / 29、4 / 30 (13 : 30 ~ 随時)

だれでも ビジターセンター入口にて 参加費：無料 雨天中止

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.4.1 第167号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

昨年の春も30羽ほどのアオサギの群は確認されています。もしかして、風に流されてきたのではなく、渡りのルートが変わってきているなんて事があるかもしれませんね。アオサギに関しては継続観察していきます。(高)